廃棄物処理施設の維持管理に関するサウンディング型市場調査
調査結果および今後の予定

令和 8 年 11 月 9 日
酒田地区広域行政組合

１．調査実施の経緯

当組合が管理する一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設の次期委託契約にあたり、これまでの契約を見直すとともに、民間事業者の自由な発想や専門知識を収集するため、公民対話（サウンディング型市場調査）を実施しました。

２．調査結果および今後の予定

第 1 回目の調査では、次の事項について対話を行いました（令和 8 年 6 月 26 日公表)。

- 委託範囲（業務内容）
- 委託期間
- 契約形態
- 業務の再委託
- 契約条件
- 入札参加資格
- 業務実施上の懸念事項等

第 2 回目以降の調査では、第 1 回目の対話を踏まえ、性能発注による包括的民間委託の導入に向けた公募条件の具体化を図るため、要求水準書やリスク分担のあり方等について検討を行うとともに、民間事業者から見積りの徴取等を行いました。

その結果、包括的民間委託の導入は、個別業務ごとの仕様発注と比較して、業務の一体的な実施や事務の効率化が期待できるものの、老朽化した本件施設におけるリスク分担の複雑さ、発注条件の整理、市場性及び事業費等について課題があることから、これらを総合的に勘案し、現時点では導入を見送る方針としました。

今後は、これまでの調査結果等を踏まえ、施設の維持管理に必要な業務内容や履行条件等を仕様書に定める「仕様発注」を基本として、発注準備を進める予定です。現時点における今後の発注の基本的な考え方及び予定については、別紙**「浸出水処理施設の維持管理業務に係る発注概要（予定)」**のとおりです。

最後に、本調査にご協力いただきました民間事業者の皆様に、厚く御礼申し上げます。